

高知県商工団体連合会 NO.1124(56-21)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/

このニュースはホームページでもご覧になれます

# 高商連ニュース

## 秋の運動ラストスパートを

■2024年 秋の運動(仲間増やし)

11/4 現在	大 拡					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	0	1	0	0
香美郡	6	0	3	3	1	3
南国	5	0	2	1	0	4
高知	2	0	1	1	0	1
仁淀川	1	1	0	0	0	0
須崎	0	0	1	0	0	0
中村	1	0	0	4	0	1
計	15	1	7	10	1	9

成果会員: 読者か会員を拡大した会員(紹介含む)



## 高知県独自の給付金制度

米寿祝金	2万円	加入者が88歳になった月に給付
白寿祝金	5万円	加入者が99歳になった月に給付
出生祝金	1万円	配偶者が出産した加入者に給付
1日・2日入院見舞金	3,000円	1日(日帰り)、2日の入院に対して 給付(3,000円×入院日数)
	6,000円	
再検査助成金	1回2,000円を限度に実費分	

## 民商共済会の5つの魅力

- 1 無条件で加入できる
- 2 いのちと健康を守る 助け合いを重視
- 3 自前の共済
- 4 心かよう仲間がいる
- 5 仲間が増えればどんどん発展

### 民商会員とその配偶者 および事務局員

#### 民商共済会への加入資格

新規加入年齢 制限なし

加入条件 条件を問わずに加入できる

加入年齢	民商会員とその配偶者 および事務局員	民商会員の同居家族・ 従業員および事務局員の 配偶者と同居家族
	新規加入年齢	制限なし

加入条件 条件を問わず加入できる

効力発効時に以下の状態の人は加入できない  
 ①入院中の人  
 ②通常の学業・労務に従事することができない人  
 ③医師から難病の認定を受けた人

会費は前納制で月1,000円です

## 見舞金・祝金

項目	E 満15歳以上～ 満64歳以下の 新規加入者	M 満65歳をすぎて 新規加入した 民商会員と その配偶者	R 満75歳以上の 民商会員と その配偶者
	請求をお忘れなく	→満75歳まで	
入院見舞い(連続3日以上)	短期入院見舞金 1日1,500円 (入院初日～60日)	短期入院見舞金 1日1,500円 (入院初日～60日)	短期入院見舞金 1日1,500円 (入院初日～30日)
長期入院見舞金	1日1,500円 (61日～120日)	なし	なし
長期入院休業見舞金	1日1,500円 (61日～120日)	なし	なし
安静加療見舞金	1年1回 5,000円		
結婚祝金	20,000円		
出産祝金	20,000円	なし	なし
長寿祝金	50,000円 満75歳の誕生日を迎えた人	なし	なし
死亡弔慰金	死亡弔慰金 加入3年以内25,000円 但し災害事由は10万円	25,000円	15,000円
	死亡退会 慰労金 加入3年以内25,000円 但し災害事由は10万円	25,000円	15,000円
高度障害見舞金	高度障害見舞金 加入3年以内25,000円 但し災害事由は10万円	25,000円	15,000円
	高度障害療養見舞金 加入3年以内25,000円 但し災害事由は10万円	25,000円	15,000円
火災見舞金	全焼10万円、全焼以外5万円		

☆☆助け合いの「民商共済」に入りましょう☆☆



みなさんありがとうございます  
 じゅんじゅん  
 浜川ゆりこ

多くの皆さんに支えられた総選挙が終わりました。結果は、高知2区浜川ゆりこは、43394票(得票率29.7%)、比例代表は31787票(11.2%)と前回総選挙より0.8ポイント伸ばしましたが、白川よう子さんの議席を獲得することができませんでした。ともに声を上げてくださったみなさんには感謝しかありません。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

12日間を終えて思うのは、高知での挑戦は大きな財産を残したということ。予算を「こどもにもつともよいこと」を。「私たちの手で」と呼びかけた訴えは、日に日に県民のみなさんの中へと浸透していききました。政治を動かすのはだれか。お金や権力を握っている人、カリスマ性のあるヒーロー、ではなく、私たち一人ひとりなのだということを伝えたい。

選挙中、道のふちや斜面、畦などで草刈りをしている人たちに多く出会いました。

草刈り機を使って、石など飛ばないようにするガードも色々種類があり、暑い日も肌寒い日も作業をされています。地域を維持し支えるその姿がかっこよくて、草刈りをしてる人を見ると私も頑張ろうと思ったのです。

そこに生きていくこと自体が地域を支え、守っていきま。透明な存在の人など本当はいないのです。

お金も知名度もカリスマ性もなくたって、私もみなさんと一緒に政治を変えていくことができる。それが立候補の後押しとなりました。

選挙戦最初は「政治とカネ」問題により、町の空気は冷えて切っていました。強い強い政治不信です。

それが、みなさんの頑張りにより少しずつ訴えが浸透し、最終盤、情勢が大きく動いたのが、「しんぶん赤旗」によるスクープ。政治への不満が怒りとなり、「頑張れ」の声援へと変わりました。

遠方からも駆けつけて応援スピーチをしてくれる人、仕事の合間を縫ってのスタンディング、SNSで広げてくれる人、差し入れもたくさん。ママ友も支持を広げてくれました。

演説を聞くために80代、90代の方がシルバーカーについて出てきてくれました。最後までピラ配りに奮闘する党員の諦めない姿には涙が出ました。

多様な人たちがつながってくれた選挙の景色は、私には希望です。

届く言葉、伝わる宣伝物、SNSなどネット戦略、サポーターのみなさんと作ったクロストーク(演説会)や宣伝。新しい挑戦も次につながる形で実っています。

「自民党を支持していただけれど、共産党のことをもっと知りたくまりました」「政治は難しいと思っていただけ、初めて分かる言葉で話してくる人に会えました」など、嬉しい言葉も届いています。

「はまぞうとみんなで作ってるプロジェクト」で作ってきた政策は、私たちの政策です。国政へ直接届け、実現させることができず、申し訳ないをなかつたことにはしたくない。

日々の暮らしの中にこそ政治があります。私も、これからの暮らしの中で、政策実現のために頑張り続けます。「ケアしあいながら選挙を楽しむ」がテーマでもありました。

家族も含め、疲れた体や心をしっかりといたわり、一緒に頑張ってくれたみなさんおしゃべりし、楽しいことを考えながら、前に進んでいきたいと思えます。

支えてくださった皆さん、ご支持いただいたみなさん、県民のみなさん、本当にありがとうございます。